

第2回日本・アルゼンチン二国間ワークショップへのお誘い
— 参加者募集—

このたび、第2回目の日本とアルゼンチン共和国の二国間ワークショップを、(独)科学技術振興機構(JST)主催で下記の通り開催されることになりました。

アルゼンチン側から「農業・食糧生産に関するバイオサイエンスやバイオテクノロジーの先進的研究技術」に関して本学会の協力を仰ぎたい旨の要望があり、第1回ワークショップの開催実現に向け折衝した経緯があります。

つきましては、第2回ワークショップに参加を希望される本学会の正会員を募集いたします。専門分野等を考慮して選考し、9月中旬までに参加者を決定致します。

■第2回日本・アルゼンチン二国間ワークショップ

全日程 平成22年11月8日～11月12日

そのうち、11月8日・9日の2日間は両国研究者によるワークショップです。

11月10日～12日の3日間は研究施設訪問

(日本側講演者の方はご参加いただく必要はございません。)

場所 総評会館(東京都千代田区神田駿河台3-2-11)

(<http://www.sohyokaikan.or.jp/access/index.html>)

募集 研究分野：日本農芸化学会が対象とする下記①～③の研究領域

① Food Science

② Microbiology

③ Plant Biotechnology ※各領域の詳細は次頁参照のこと

人員：約10名

※旅費、滞在費等についてはJSTが負担します。

■応募要項(下記の項目に関する書類をメールにて送付ください。書式自由)

1. 氏名、所属、日本農芸化学会会員番号

2. ワークショップにおける

- ・ 発表タイトル(上記研究分野①～③のいずれかを明記してください。)
- ・ 発表の概要(600字程度)
- ・ 参加希望の理由
- ・ アルゼンチンとの共同研究の有無

■〆切 平成22年9月10日(日)

■送付先・問い合わせ先 日本農芸化学会事務局広報係 shomu-b@jsbba.or.jp

※問い合わせはメールでお願いいたします。

今年度は、主に以下の分野を対象とする予定

① Food Science

1. Increasing the social acceptability of soybean-based functional foods.
2. Application of genomic, proteomic and metabolomic approaches to the exploration and improvement of pseudocereal species.
3. Searching for new functional properties in traditional foods of Argentina and Japan.
4. Development of functional foods and evaluation of their effects by sophisticated methodologies.

② Microbiology

1. Toxic metals - Microbial Diversity - Bioremediation
2. Enzymes in extremophiles with various applications
3. Biotechnological production and characterization of biomolecules from microbial origin with actual or potential biomedical applications

③ Plant Biotechnology

1. Development of plant resistance to abiotic stresses
2. Production of lignocellulose biomass from eucalyptus and poplar varieties